

ひょうご



# みどりの風

2015.3

No.38

(題字 井戸敏三会長)

## 兵庫の国有林

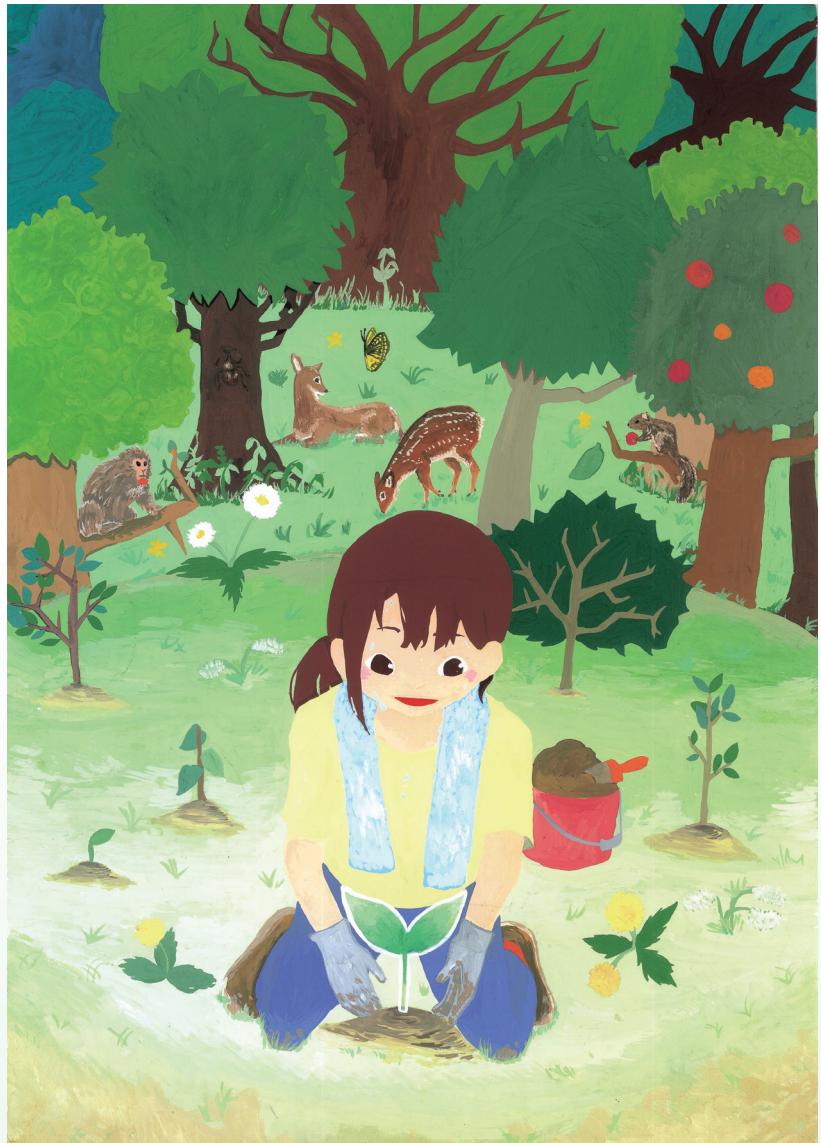
兵庫森林管理署。それは、兵庫県西部の宍粟市（シソウシ）山崎町に庁舎がある林野庁の地方組織で、国が所有している森林（国有林）を管理している組織です。平成11年までは営林署と呼ばれており、名称が変わって丸16年になりますが、営林署という名前のほうが通りがよい場合もあります。まだまだPRが足りず反省しなければなりません。

兵庫県の県土面積は約84万ヘクタールで、そのうち約56万ヘクタールが森林です。県土面積に占める森林の割合は67%であり全国平均と同程度で、兵庫県は豊かな森がたくさん存在する県であるといえます。この森林のうち、兵庫森林管理署が管理する国有林は約3万ヘクタールで県内森林面積の5%です。全国では森林のうちの30%が国有林ですから、兵庫県内の国有林が少ないことがわかります。県内の国有林は、その44%が宍粟市に存在しており、その他は県内各地に点在し、所在市町は30市町にも及びます。北西部の中国山地第二峰である氷ノ山（1,510m）をはじめとする中国山地脊梁部の東端付近の標高1,000m級の山々から南東部六甲山系まで多岐に亘り、都市近郊林が多いことも特徴となっています。氷ノ山、音水渓谷、赤西渓谷、不動滝、宝塚自然休養林などは国有林のなかでも多くの皆さんに親しまれているのではないかでしょうか。

兵庫森林管理署では、国有林を通じた公益重視の管理経営を推進し、低迷が続いている林業を再生するために、国有林の組織力や資源を活かした取り組みを進めています。混み合った森林の間伐や、新たな技術で作られたコンテナ苗を使った植付、集中豪雨等で被災した箇所を復旧する治山対策、貴重な植物群落の保存など生物多様性の保全にも努めています。また、間伐などで伐採した木材は、極力林外へ搬出し資源として活用されます。国産の木材は、長年に亘り外国産木材に圧倒されてそのシェアが低くなっていましたが、国内の需要を喚起し、それに対して安定的に供給できるよう取り組みを併行して進めており、地域の振興にも役立っていくたいと考えています。



不動滝風致探勝林



平成27年用国土緑化・育樹ポスター原画コンクール国土緑化推進機構理事長賞  
平成26年度兵庫県緑化作品コンクール入選者 1席  
(林 笑加 姫路市立東中学校 3年) (応募時)

一方で、悩みを抱えているのが増加している野生シカの被害対策です。兵庫県がその管理計画を定め、獣友会の皆さんのが相当の数の駆除を行っており、増加のスピードが弱まってきたとの報告もあります。森林では、せっかく植えた苗木を食べられたり、大きくなった樹木の皮を剥いだりと、健全な森林の育成を阻害することになり、森林がもたらす水を蓄える働きや、土砂の流出を防ぐ働きなどが失われてしまう恐れがあるため対策を進めています。

また、わが国では、森林に対する関心が低くなっているといわれますが、活動されるボランティアグループや企業の参画も多く、活発な活動も行われてあります。兵庫森林管理署としては、このような取り組みにも連携できるよう取り組む考えです。

林野庁 近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署 署長 川畠 宏二

## 地域コミュニティの活性化に一役

# 里山の復活願う!「的形ふるさと里山会」の活動紹介

姫路市的形町

我が町的形は、姫路市の東南部に位置し南は瀬戸内海播磨灘に面し、ほぼ三方が100m前後の里山に囲まれた地域です。平成18年、当時の連合自治会長の「昔の里山復活」への熱い想いを応援しながら、平成20年に「的形ふるさと里山会」を正式に発足し、姫路市ボランティア団体にも登録して現在に至っています。

### ハイキングが楽しめる里山づくり

朽ち果てた里山の竹林、雑木林、倒木、雑草等を処理しながら登山道の開拓に苦戦を致しました。

開拓後の維持活動も重要な作業となり、冬場は月2回、その他の月は月4回実施しています。定期的な草刈りや倒木の除去、安全・安心登山のため急坂の階段と手摺の設置、東屋新設、ベンチの設置、木や花の植樹、眺望所の開拓等に挑戦を続けました。（登山マップ改訂版）



（倒木撤去）



（東屋の設置）

平成21年度末には、里山をぐるっと巡る「的形ふるさと里山回廊構想」がほぼ完成し、平成22年8月には、Aコース、Bコース合計約6.2kmに及ぶ登山道と的形の名所旧跡を紹介する登山マップを発刊致しました。

### 地域コミュニティ活性化への貢献

これらの結果、的形の最高峰「坂の山(110.7m)」には、1月1日の「初日の出参拝登山」、毎月1日の「日の出登山」が定着し、



（初日の出参拝登山）

町民の健康ハイキング（年に2回）や近隣諸団体の

ハイキングの案内にも協力しながら、地域コミュニティの活性化に大いに貢献していると自負しています。



（県500人会の案内）

### 次世代につなぐ連携と支援活動

定着してきたこの活動を決して一過性の活動として終わらすことなく、次世代につなぐ地域活動として是非継続させたいと願っています。

注目点は、地域のこども園、小学校、中学校との連携と支援に力点をおいています。具体的活動としては、

(1)こども園：4才児、5才児ごとの、年数回の健

康ハイクに同行しています。

(2)小学校：1年生は竹トンボ教室の開催、3年生は「地域環境体験事業」で、年数回の里山ハイクと樹木名札の製作、我々が発刊した解説書「的形里山の樹木」を樹木手引書としました。

(3)中学校：トライやるウイークで里山整備の体験。

(4)名所旧跡の解説案内板設置や、的形の最高峰「坂の山」頂上に眺望案内板を設置致しました。



（名称旧跡解説案内板）



（樹木の名札取付）

### 今後の課題と決意

昨年は「ひょうご森づくり活動賞」をいただきました。森づくりを目標に出発した活動ではありませんでしたが、このような栄誉ある賞をいただき、早速、森づくりの手始めに、この冬、自生する「松の木の若木」約50本を計画的に植樹致しました。

「森づくり」と「里山ハイクで地域の活性化」を両立できる活動を“継続は力なり”を合言葉に会員28名一丸となり強力推進致します。



（松の若木植樹）



## 昨年に引き続き 「企業の森づくり担当者会議」を開催しました

平成27年2月19日(木)に県下各地で企業の森づくり事業を実施されている企業や支援団体等約40名が参加し、当協会と兵庫県、ひょうご森づくりセンターの三者共催で、兵庫県農業共済会館において開催しました。

先進的な取り組みをされているパナソニックエコリレージャパンの山口進事務局長の基調講演のあと「広げる」「深める」「続ける」といったテーマごとにワークショップを行い、今後の取り組みについて話し合いました。

企業の森づくり事業は、環境保全等社会貢献に



関心の高い企業や団体等の皆様に県内の豊かな自然環境を活用しながら、地域の方々とともに森林保全に参画していただくもので、現在26社の企業・団体が取り組んでおられます。

## 平成26年度緑化作品コンクールの結果

緑化思想の高揚を図るため、県下の小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒を対象にコンクールを実施しました。

応募点数は、緑化ポスター原画の部2,143点、緑化標語の部935点、そのうち入選点数はポスター原画の部31点、標語の部20点でした。特に優秀な作品をご紹介します。



神戸市立本山第一小学校 1年  
井上 采音さん (応募時)



養父市立建屋小学校 5年  
小谷 航大さん (応募時)



姫路市立東中学校 3年  
林 笑加さん (応募時)

### 国土緑化推進機構理事長賞

県コンクール上位作品を(公社)国土緑化推進機構が開催する全国コンクールに応募した結果、上記3名が入選しました。

### 〈ポスター原画の部〉

#### 小学生の部1席



神戸市立本山第一小学校  
1年 井上 采音さん  
(応募時)

#### 中学生の部1席



姫路市立東中学校  
3年 林 笑加さん  
(応募時)

#### 高校生の部1席



兵庫県立姫路工業高等学校  
1年 坊垣 夏子さん  
(応募時)

### 〈標語の部〉

#### 小学生の部1席

加古川市立氷丘小学校 5年 柴谷 穂花さん  
(応募時)

「小さな芽 きれいな地球の 第一步」

#### 中学生の部1席

加古川市立中部中学校 1年 西尾紗江子さん  
(応募時)

「とどけよう 未来の緑と 大きな夢」

#### 高校生の部1席

兵庫県立農業高等学校 3年 陰山 裕生さん  
(応募時)

「まもりたい 皆の笑顔と みどりの輪」



## 県下の緑化推進委員会を訪ねて

### <西宮を花と緑にする会>

「西宮を花と緑にする会」は、西宮市民憲章に基づいて市民があいたずさて、山をみどりに、町にみどりを育て“みどりと青空の明るいまちづくり”の実践に努めることを目的に昭和46年に発足しました。

街かどを飾るフラワーポットを設置し、季節の草花の植付け・管理をはじめ、緑化イベント「フラワーフェスティバル in 西宮」や園芸教室、研修会の開催などにより緑化意識の向上や、知識の習得、会員相互の交流を図る他、緑の募金活動にも取り組んでいます。

今後も本会の趣旨に賛同いただけた個人や企業、学校園、自治会などの各種団体の皆さんと共に、花と緑あふれるまちづくりに取り組んでまいります。



フラワーポットの設置風景



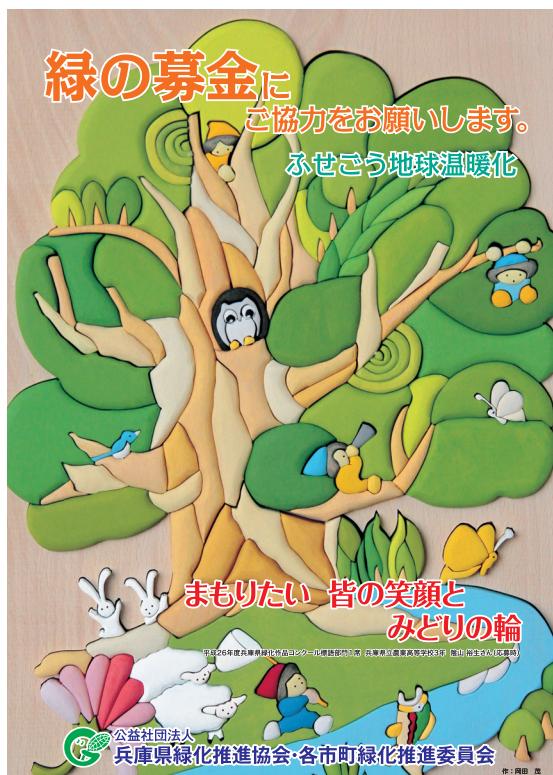
「フラワーフェスティバル in 西宮」の様子



研修会の様子



## 「緑の募金」にご協力をお願いします



森と緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地域で行っています。

### ご寄付の方法

ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込みをお願いします。

#### ● 郵便振込

郵便振込の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。

#### ● 銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所  
普通 3198438 (振込手数料が必要)  
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

### 募金運動の期間

春季 3月1日～5月31日  
秋季 9月1日～10月31日

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会 TEL 650-0012  
神戸市中央区北長狭通5丁目5-18

TEL 078 (341) 4070 FAX 078 (341) 4071  
URL : <http://www.hyogo-green.net/>

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

